

令和 7 年度 第 3 回郡山支所管内の振興に係る地域懇話会概要

日 時	令和 8 年 2 月 24 日 18 時 30 分～20 時 00 分
場 所	郡山支所 3 階 中会議室
出 席 者	地域懇話会委員、地域活性化アドバイザー、事務局
会 次 第	○協議事項 ・ 令和 7 年度の取組について ・ 令和 8 年度の事業予定について
主な意見等	1 令和 7 年度の取組み及び令和 8 年度の事業予定について 【各委員からの意見等】 ①郡山の魅力再発見！e-Bike サイクルツーリズム事業 ・ イベントを開催した 11 月は利用者が増加したがその後減少している。課題を深掘りして分析をしてほしい。 ・ 車文化が強い中、自転車でしか得られない体験価値をどう示すか。 ・ 「地域資源」という言葉が抽象的なまま使われているため、鬼火焚き、大きなタブの木、体育館利用者コミュニティなど、具体的資源を明確化して活用した方が良い。 ・ 外部から来た人の視点で初めて価値に気づくケースもあり、地元住民が見逃している魅力がまだ多く存在するのでは。 ・ 八重山公園への配置は継続してもらいたい。 ②郡山まるごと満喫事業 ・ 企画が盛りだくさんで忙しい印象があるため精査が必要。 ・ 「のんびり過ごす時間」の確保もあったほうが良いのでは。 →現在検討会でアイデア出しをしている状況なので、今後、タイムスケジュールと合わせて実施イベントを精査したいと考えている。 ・ 昨年度が雨で中止だったので、雨天時にも楽しめる事を考えて、今の案をより良くなるように検討してもらいたい。 ・ 都会の人には非常に魅力的。周辺施設とのタイアップなども検討を。 ③景観イメージアップ事業 ・ 県道沿いの花壇に植栽した当初は良かったが、自主的に管理している一部の事業所の前以外は管理が行き届いていない。 ・ 花尾地域コミュニティ協議会では独自の活動としてプランターで植栽を行った。県道は設置の許可がもらえず、道路沿いの私有地に協力を得て設置。管理は難しいがイメージアップのために続けている。 ・ 明桜館高校の生徒や道路沿いの事業者の方々が、できる範囲だけでも管理しようといった意識が広がっていくように継続したいと思う。 ・ 草で荒れたり、コンクリートで埋めたりしている道路沿いの花壇が多い中、この活動によって景観が保たれていると感じる。 ④郡山まるごと満喫マルシェ事業 ・ 昨年度の 1 回目よりも内容が向上し来場者も増加して良かったが、スパランド裸・楽・良に届いた意見では、子ども向けの食事・飲み物販売の不足、会場を縦方向レイアウトにした方がよいのでは、という意見があった。 ・ L I N E でのマルシェのイベント広告掲載はとても良かった。 ・ 会場の工夫は必要だが、ふるさと祭りとの合同開催はぜひ実施してもらいたい。 ・ フィナーレイベント参加事業者には、利益を出せば一番いいが、まずは来場者に郡山と自分の店を宣伝するためと思って参加してほしいと願っている。 ・ カレーテリア沙羅さんが関わっていたカレーフェスタも参考に。 ・ 地域内で配布した抽選補助券でイベントを知った人が結構いるので、配り方や枚

数の工夫でもっとよくなると思う。

- ・「いろどりマルシェ koriyama」の名称は覚えやすさと短さを考慮して考えなおしてもいいのでは。
- ・明桜館高校の生徒が協力してくれているので、さらに生徒たちが活躍する場になっていけばいい事だと思う。

2 地域活性化アドバイザーからの意見

- ・e-Bike 利用者数は少しずつ伸びており、季節イベントを挟むなどの仕掛けでまだ伸びる可能性がある。
- ・いろどりマルシェ koriyama は近隣イベントが多い時期だが、郡山のマルシェは独自性があり、郡山地域外からのお客様（約 70%）に強くアピールできている。他のイベントに飲み込まれないよう、「地元事業者中心」「1 か月のロングランマルシェ」という特徴を維持してほしい。